

どうか。
選挙で暮らし
変わるんや。

3・29 告示
4・7
投票
統一地方選挙

カジノより
暮らし・子育てを
応援する政治へ

GO!
税金の使い方をチェンジすればできる

格差と貧困がすすむなか、いま
「全力」で区民のいのちを守り、暮
らしを応援する。日本共産党の井
上ひろしつだ洋子は、「住吉くみ
ん応援」わくわくプランを発表しま
した。税金の使い方をチェンジすれ
ば暮らしは良くなる。選挙で暮らし
を変えましょう。

市民アンケートの
「力を入れてほしい政策」
ベスト3は
①介護保険料の引き下げ
②国保料の引き下げ
③医療・介護費の軽減



結果は
こちらに
日本共産党を
のばせばできる!

“住吉くみん応援”わくわくプラン

教育の充実・子育て世代を全力で応援

●認可保育所の増設、保育士の待遇改善で待機児童の解消と保育の質を改善する

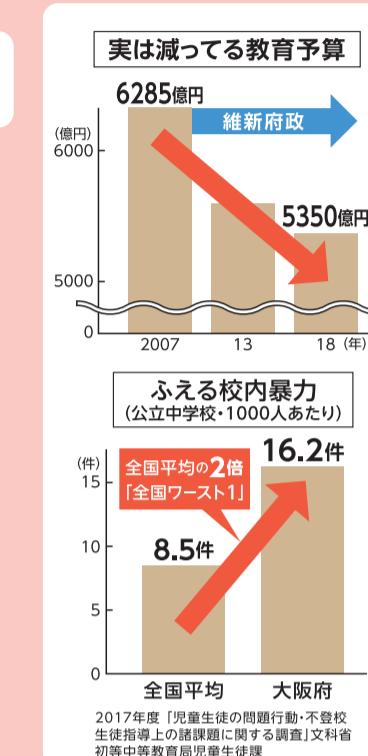
維新市政がストップしていた公立保育所の正規保育士の採用を2016年度から再開させました。

●住吉市民病院の跡地に小児・周産期医療の病床をつくる

今年3月、住吉市民病院の産科、小児科は「2重行政のムダ」を理由に閉院。府立急性期・総合医療センターに統合されました。重症・重篤でなくても気軽に診てもらえていた市民病院が廃止される一方、その患者のすべて受け入れるとした府立急性期。利用者からは「気軽に行けない」「受け入れてもらえなかった」などの声があがっています。

住吉区ではお産できるところが減っています。医療は2重、3重にあってこそ安心して暮らし、子育てすることができます。

- 少人数学級を拡充し、教員を増やして、どの子もわかる授業に
- 市大・府大は統合せず、学問の場を保障する
- 給付制奨学金のスタート
- 「子どもの貧困対策条例」(仮称)を制定し、対策を抜本的に強化



「カジノ、都構想」から「暮らし第一」へ

●高すぎる国保料の1人1万円の引き下げ(市の予算、年65億円ができる)

全国知事会などが国に要望している「1兆円の公費負担」でも引き下げは可能です。年収400万円4人家族(30代夫婦・子ども2人)なら、41万9500円を26万400円に下げるることができます。

均等割・平等割をなくせばこんなに下がります

年収300万円、30歳代夫婦と
未成年の子ども2人の
4人世帯の場合(万円)



●介護保険料・利用料の引き下げ(市の予算、年85億円ができる)

大阪市は政令市の中でも、最も高い保険料になっています。昨年度は65歳以上、月額6758円から7927円に値上げしました。国の負担割合を10%増やし、一般会計からの繰入で大幅に値下げできます。

●建設補助金を増額して特別養護老人ホームを増やし、待機者をへらす

中小企業支援・働く人の権利を守る

●介護職員の待遇改善を国に要請し、府の助成制度を創設

●住宅リフォーム助成制度など地元発注で中小企業を応援する
この4年間で11億円も削られた中小企業予算を増やします。

●最低賃金引き上げを企業負担軽減とセットで実施

中小企業への負担軽減措置とセットで、ただちに時給1,000円以上に引き上げ、時給1500円を実現します。

●ブラック企業規制条例を制定し、ブラック企業・ブラックバイトをなくす

防災優先・生活密着の公共事業、まちづくりへ

●大和川の氾濫対策・地震対策など、防災・減災対策の抜本的強化

●水道など老朽化したインフラ整備を最優先に

大阪市の水道管の老朽化率は44.9%と、緊急事態です。水道法の規定に基づき、国の財政支援を求めて、最優先課題としてすすめます。

●阪和線跡地への「風かおる道(遊歩道)」の早期着工

JR阪和線の高架化と跡地利用計画を住民参加で推進してきました。橋下前市長のもとで計画停止がされました。計画再開・早期着工をもとめ、前進させます。

●コミュニティバスの復活で、交通の空白地域をなくす

安倍+維新コンビの
9条改憲は許しません!

消費税10%増税は止められる!
増税ストップこそ一番の景気対策!

水道管の老朽化率

大阪府下平均…28.6%
大阪市…44.9%
全国…13.6%

自民・公明・維新の議席独占を許さず、住吉から日本共産党をのばしてください。

住吉のみなさんの願いを届け、いのちと暮らしを守る力

住吉区の日本共産党は、住民の願いを何よりも大切に、議会に届け、実現に力を尽くしてきました。古くは、粘り強い運動で住吉郵便局の設置に力を発揮。万代池の浄化・水質改善や、最近では、歴史ある住吉幼稚園、墨江幼稚園の民営化を共同の力で守り抜くなど、まちづくりに貢献。引き続き、区民の身近な相談相手、いのちと暮らしを守るよりどころとして頑張ります。

大阪市を守り抜きました

—「維新政治」を転換する確かな力

大阪市をなくし、権限も財源も吸い上げ、大型開発などやりたい放題の仕組みを狙う「都構想」。4年前、市民の皆さんと力を合わせ、住民投票で否決しました。維新・公明党の密約による住民投票は許しません。

ギャンブル依存症の激増で「経済効果」の5倍のコストがかかり、外国カジノ企業に市民のお金を巻き上げさせるカジノは「百害あって一利なし」。日本共産党は反対を貫きます。

市民と野党の共闘をすすめる力

—市民と野党が力を合わせ
自民・公明・維新の安倍政治を変える

今度の参議院選挙では、全国すべての一人区で市民と野党の共同の候補者を立てることが合意されました。大阪では「反維新の共同」の発展に力を注ぎました。日本共産党は、国政も大阪の政治も共同で変え、進めることを根本方針にしています。

住吉区から「共同」の力で政治をかえる。それが日本共産党です。

井上ひろしつだ洋子の



+

わくわくプランを
実現しましょう!



最大
637
億円

住民投票で否決された
都構想はストップ

法定協議会で、議論すればするほど
「特別区設置」のコストが膨れ上がり、
庁舎の建設などで最大637億円。さら
に議会の設置経費や人件費増などで、
毎年50億円~60億円も必要になり、
新たな負担増につながり、住民サービス
を圧迫します。

万博を隠れみのに カジノのための巨大開発が次々と…

- 夢舞大橋の拡張費……………40億円
- 夢洲の急速埋め立て費用…………約136億円
- 地下鉄中央線延伸……………約540億円
- 京阪中之島新線延伸…………約1000億円+α
- JR桜島線延伸……………約1700億円
- なにわ筋線……………3300億円
- 淀川左岸線延伸部……………4000億円

どれだけ
たくさんの
お金を
使うの?

日本共産党



JCP

検索